

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 7 日(2024.5.7)

【公開番号】特開 2022-115115(P2022-115115A)
【公開日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)
【年通号数】公開公報(特許)2022-145
【出願番号】特願 2021-11572(P2021-11572)
【国際特許分類】

A 63 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 614 B

A 63 F 5/04 631

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 24 日(2024.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のベットスイッチと、

精算スイッチと

を備え、

所定の状況であるときは、所定のベットスイッチが押下されると所定のベットスイッチに対応するベット処理が実行可能であり、

前記所定の状況であるときは、精算スイッチが押下されると精算スイッチに対応する精算処理が実行可能であり、

30

前記所定の状況であるときに遊技機の電源が遮断され、その後遊技機の電源が遮断されている状況にて精算スイッチが押下され、当該押下が継続されている状況にて遊技機の電源が投入された後も精算スイッチが押下されている特定の状況では、精算スイッチに対応する精算処理が実行されておらず、且つ所定のベットスイッチが押下されると所定のベットスイッチに対応するベット処理が実行可能であり、

遊技機の電源が遮断され、電源断を検知した場合は電源断時処理が実行可能であり、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが押下されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチが第 1 タイミングで押下された場合は所定図柄組合せに対応する所定図柄を停止させるための停止処理が実行可能であり、

40

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが押下されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチが第 1 タイミングで押下され、その後、前記所定図柄を停止させるための停止処理を実行している第 2 タイミングで電源断時処理が実行された場合は、遊技機の電源が投入された後の第 3 タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、当該所定のリールを定速で回転させているときは所定のリールに対する脱調を検出可能である

遊技機。

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、

所定のベットスイッチと、

精算スイッチと

を備え、

10

所定の状況であるときは、所定のベットスイッチが押下されると所定のベットスイッチに対応するベット処理が実行可能であり、

前記所定の状況であるときは、精算スイッチが押下されると精算スイッチに対応する精算処理が実行可能であり、

前記所定の状況であるときに遊技機の電源が遮断され、その後遊技機の電源が遮断されている状況にて精算スイッチが押下され、当該押下が継続されている状況にて遊技機の電源が投入された後も精算スイッチが押下されている特定の状況では、精算スイッチに対応する精算処理が実行されておらず、且つ所定のベットスイッチが押下されると所定のベットスイッチに対応するベット処理が実行可能であり、

20

遊技機の電源が遮断され、電源断を検知した場合は電源断時処理が実行可能であり、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが押下されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチが第１タイミングで押下された場合は所定図柄組合せに対応する所定図柄を停止させるための停止処理が実行可能であり、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが押下されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチが第１タイミングで押下され、その後、前記所定図柄を停止させるための停止処理を実行している第２タイミングで電源断時処理が実行された場合は、遊技機の電源が投入された後の第３タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、当該所定のリールを定速で回転させているときは所定のリールに対する脱調を検出可能である

30

遊技機。

また、本発明は、

抽選結果として所定の結果Ａと、所定の結果Ｂ、特定の結果と、を少なくとも有し、

抽選結果が所定の結果Ａとなったときに停止ボタンが第１の操作態様で操作された場合には、第１図柄組合せが停止表示され、

抽選結果が所定の結果Ａとなったときに停止ボタンが第１の操作態様とは異なる第２の操作態様で操作された場合には、第１図柄組合せが停止表示されず、

40

抽選結果が特定の結果となったときに停止ボタンが第１の操作態様で操作された場合には、第１図柄組合せが停止表示され、

抽選結果が特定の結果となったときに停止ボタンが第２の操作態様で操作された場合には、第１図柄組合せが停止表示され、第１図柄組合せが停止表示されず、

抽選結果が所定の結果Ｂとなったときに停止ボタンが第２の操作態様で操作された場合には、第２図柄組合せが停止表示され、

抽選結果が所定の結果Ｂとなったときに停止ボタンが第２の操作態様とは異なる第１の操作態様で操作された場合には、第２図柄組合せが停止表示されず、

抽選結果が特定の結果となったときに停止ボタンが第２の操作態様で操作された場合には、第２図柄組合せが停止表示され、

50

抽選結果が特定の結果となったときに停止ボタンが第 1 の操作態様で操作された場合には、第 2 図柄組合せが停止表示されない
遊技機であつてもよい。

10

20

30

40

50